

2022年



かわむら小児科

モ〜モ〜くらぶ

公式 LINE



夏かぜについて

夏かぜとは、コクサッキー、エンテロ、エコー、アデノなどのウイルスにより夏に流行る病気を言います。

ヘルパンギーナ

コクサッキーウイルスの感染で起こります。38～40℃の高熱が2、3日出ます。のどが赤くなり、のどの奥に小さな水ぶくれがいくつもできます。のどが痛いときは固いものやすっぱいものを避けます。

手足口病

主にコクサッキーA16、A6あるいはエンテロ71ウイルスの感染で起こります。手のひら、足の裏、口の中、膝やお尻に発疹、水ぶくれができます。熱は出ないこともあります。のどから2～3週、便からは4～5週間ウイルスが排出されますので長い期間うつりますし、発疹が出る前からうつります。A6はいろんなところに発疹が出ます。

咽頭結膜熱(プール熱)

アデノウイルスの感染で起こります。のどが赤く痛くなり、結膜炎を起こします。プールで感染することが多いのでプール熱とも呼ばれますが、プールに入らなくてもうつります。39℃以上の高熱が4～5日続きます。安静と水分補給が大切です。目からもうつりますのでタオルなどを共有しないようにすることが大切です。

エコーウイルス

1～2日の高熱、頭痛、吐き気、発疹などがあります。髄膜炎を起こすこともあります。のどに点々とした赤い発疹が見られることがよくあります。新生児でもかかることがあります。

いずれも特効薬はなく、抗生剤は効きません。安静と水分補給で様子を見ます。感染力は強く潜伏期は2～7日ぐらいです。咽頭結膜熱は高熱が続く感染力も強いので、熱が下がっても2日ぐらい休む方がよいでしょう。手足口病、ヘルパンギーナは熱がなく元気であれば通園・通学してもかまいません。

子どもの水の事故にご注意！

暑くなってくると水の事故が増えてきます。海や川はもちろん、家庭内でも2歳以下の乳幼児は特に気をつけなければなりません。

【家庭内】

- 浴室の出入口には子どもの手の届かない高さに取り手や鍵をつける。
- 浴槽に水をはったままにしない
- ビニールプールやバケツの水など、10cmの深さでも溺れるので、目を離さない。

【海・川など】

- 必要に応じてライフジャケットを使用する
- 滑りにくくかかたがある履物を使用する
- プールの排水口には近づかない

どの場合においても、保護者は決して目を離さないようにしましょう。

(こまさん)

けんかのきもち

文: 柴田愛子 絵: 伊藤秀男

“たい”と“こうた”は一番の友だち。でもある日大げんかをした。「ごめんな」こうたがあやまった。でもけんかの気持ちはおさまらない。次は絶対ぼくが勝つ!!



こうやって大人になり、本当の友だちになっていくのでしょね。(ぴーなっつ)

・・・感染症情報(7月1日現在)・・・

- ★嘔吐下痢症が引き続き、結構見られます。
- ★夏かぜのヘルパンギーナ、アデノウイルス感染症も少しずつ見られます。
- ★新型コロナがまた少し増えてきています。